

静岡市公立小中学校事務職員会（以下、本会とします）の会長を務めさせていただきます静岡市立清水興津中学校の望月和子です。

本会は、旧静岡市と旧清水市が合併した平成 15 年 4 月に発足し、旧蒲原町・旧由比町の編入を経て現在に至り、今年度でちょうど 20 年目を迎えます。

合併初年度の平成 16 年 2 月、第 35 回東海地区公立小中学校事務研究大会浜松大会で「21 世紀に生きる学校事務職員像」を提案しました。当時静岡県で策定した静岡県教育計画の未来をひらく『意味ある人』に重ね合わせ次のように考えました。

「何かができる人」 = 行政職員としての専門性に自信を持ち、学校教育目標に向かって主体的に活動する人

「精神的に自立している人」 = 柔軟な発想と創造性豊か取り組みができるとともに、事務主任としての説明責任を認識している人

「思いやりのある人」 = 子供たち一人一人の個性や家庭・地域の特色を理解し、その良さを認めることのできる人であり、教員を始め他職種の方と共同できる人

それから 5 年後の平成 21 年 2 月、第 40 回東海地区公立小中学校事務研究大会羽島大会では「静岡市の共同実施」と「学校経営参画へのアプローチ」から未来の姿を探りました。

事務職員が学校経営に参画することで学校の教育力が高まること、事務職員の経営参画を推進するためには共同実施が有効であることを検証しました。そして、子どもや保護者、地域住民、そして私たち自身が行きたい学校づくりを目指したいと投げかけました。

そして今、共同実施から共同学校事務室に向けて変化しようとしています。合併をはじめ否応なしに押し寄せる変化の流れの中にあっても私たちは、子供や職員が安心して活動できる環境を作るためにできることを模索しながら課題に取り組んできました。目前に迫る変化は押し寄せる波ではなく、自分たち自らが創り出す未来への架け橋です。

本会では、活動の中心を「研究」におき、「子どもの豊かな育ちを実現すること」をミッションとして組織で取り組みを続けてまいります。グランドデザイン活動プランに基づき今年度は「情報マネジメント」を重点としながら、土台となる「学校事務職員の専門性と役割」をしっかりと見極め前進したいと考えます。本会の一番の強みは組織力です。会員一丸となって時代の要請に応える教育事務を創造していきましょう。



1 年間、どうぞよろしくお願いたします。

令和 4 年 6 月 吉日
静岡市公立小中学校事務職員会 会長 望月和子